

「比治山型アクティブ・ラーニング」の構築と実践
—2018年度「日本語表現研究」における取組報告—
生涯にわたって自ら学び続ける人材の育成をめざして

1 はじめに

比治山大学・比治山大学短期大学部：平成26年度「大学教育再生加速プログラム(AP)」「テーマⅠ・Ⅱ複合型」に選定
(テーマⅠ：アクティブ・ラーニング)

- ◆コアAL科目群の選定と、比治山型アクティブ・ラーニング授業の推進
 - ◆AL推進室の開設とAPセミナー・ALワークショップ等の開催
 - ◆「4×3の比治山力」の策定と、「学修の手引き」の作成
 - ◆「アクティブ・ラーニング実践事例集」の作成
- (テーマⅡ：学修成果の可視化)
- ◆「Hi!way」システムを使った学修ポートフォリオの導入
 - ◆「比治山型ディプロマ・サプリメント」の構築



P: 学生の実情・事態の把握
⇒D: それに基づいたアクティブ・ラーニングの導入
⇒C: 授業評価アンケート・リフレクションシート等による振り返り
⇒A: 取組内容や形態の共有、改善へ向けたディスカッション



☆(テーマⅠ実践例) 比治山大学 現代文化学部 言語文化学科 日本語文化コース(専門科目/3年)「日本語表現研究」 ※自由領域科目のため、現代文化学部生は履修可能

2 授業の目的

2018年度「日本語表現研究」※本授業(プロジェクト活動)は、比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科村上ゼミの協力を得て、映像記録として保存
◆学びの成果をどのような形で地域に還元することができるかを考え、実践していく授業
◆日本語文化コースのDP「地域社会や現代社会における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢を持ち、豊かな発想力をもって解決策を見出す力」の修得をめざす

2018年度は、医療法人社団恵正会、IGL医療福祉専門学校、比治山大学との産学連携プロジェクトを展開



IGL医療福祉専門学校 学生約30名
医療法人社団恵正会スタッフ約10名



比治山大学 学生約60名



【介護従事者養成機関・介護施設における課題】

★広島弁を知らない若年者・外国人介護従事者が抱えるコミュニケーションの問題
医療現場における「方言の壁」

日本語文化コースで学んだ専門知識(文学・語学・歴史文化・表現創作)を活かし、課題の解決につながるコンテンツを作成し、現場で活用してもらう

3 授業の概要

①「方言の壁」を解消するコンテンツの作成(その1)

◆広島弁による介護実習ビデオ(介護の手順だけでなく、現場で使われる広島弁会話を学ぶことができるものを作成)

医療専門学校や介護施設の訪問

⇒介護の手順、現場で交わされる会話の取材、広島弁の採取

介護実習ビデオ用のシナリオを作成

⇒入浴介助・機能訓練等、現場で想定される6つのシーン

DVD撮影

⇒演出(比治山大学)、演者(IGL・恵正会)、撮影(恵正会)

広島弁による介護実習ビデオ



②「方言の壁」を解消するコンテンツの作成(その2)

◆広島ことばカルタ(医療従事者が広島弁を学ぶ教材、被介護者のためのレクリエーション用品、介護従事者と被介護者のコミュニケーションツールとなることを想定し作成)

介護施設等での広島弁採取

⇒広島弁リストの作成

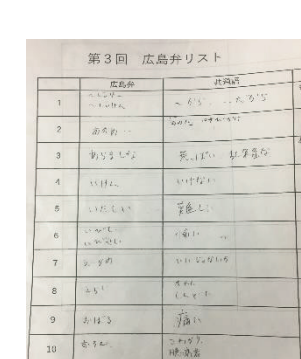
カルタ作成(絵札:写真/読札:広島弁会話)

⇒介護施設等での取材、写真撮影、読札の作成

カルタの活用

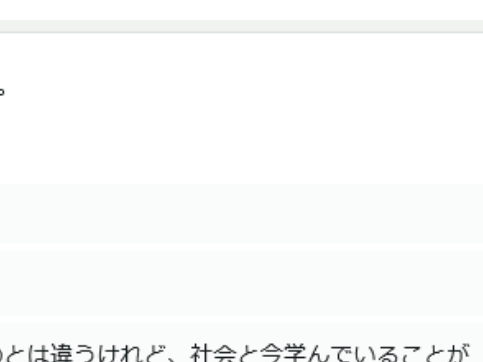
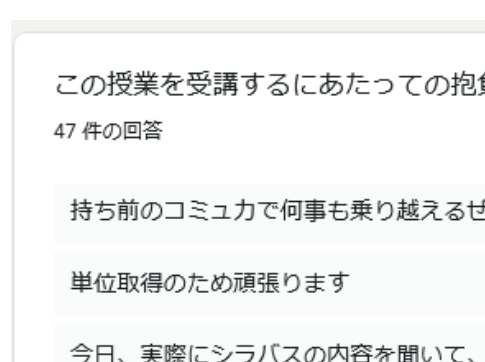
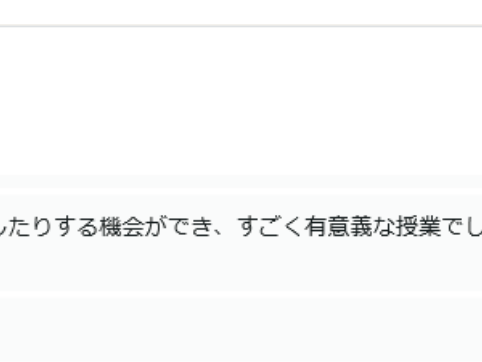
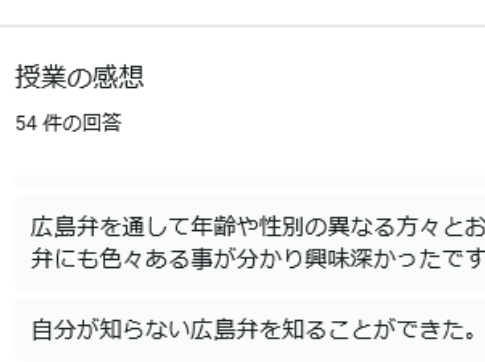
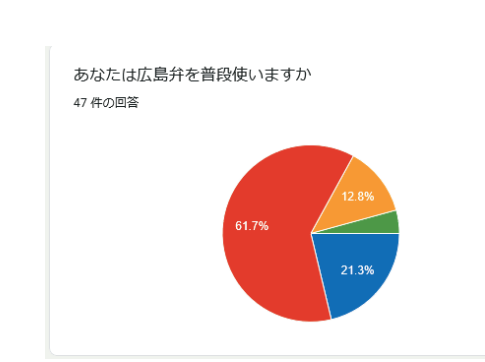
デイサービスセンターなごみの郷にて
利用者のレクリエーションとして
安芸木田町シニアクラブ(比治山大学訪問)
学生とシニアクラブ交流のレクリエーション

広島ことばカルタ



4 授業の成果と課題

完成披露試写会・プロジェクト総括 2019年1月28日(於:比治山大学 10号館多目的ホール)



◆授業開始時に行ったアンケート (Google Formsを使用)

この授業を受講するにあたっての抱負を書いてください



授業の感想
54 件の回答

広島弁を通じて年齢性別の異なる方々とお話ししたりする機会ができて、すごく有意義な授業でした。広島弁にも色々ある事が分かり興味深かったです。

自分が知らない広島弁を知ることができました。

授業の目的がよく分かってなかったので、不安もありましたが、学外の活動は学生でなかったので、新鮮な授業でした。また、IGLの学生さんとも関わることができました。

ある程度早いという事前知識のないようなことをベースに、コミュニケーション力、発想力、情報収集力が鍛えられ、とてもいい経験になったと思います。

違う学部ばかりで少しアウェイ感がありましたが、動画制作に少しでも立ち合うことができてとても楽しかったです。

毎回課題の量が多くて心が折れそうになった。授業から少しエッセンスを取り出せるのが良かった。チームで一人でも作業しない人がいると負担が大きいからチームで作業するのは大変だと感じた。

この授業を受講するにあたっての抱負を書いてください

47 件の回答

持ち前のコミュニケーション力も高めたい！
単位取得のための頑張ります

今日、実際にシラ(ス)の内容を聞いて、自分が思っていたものと違っていたけれど、社会とつながっていることが実感することが出来たと感じて、とても興味深かったです。その反面、他の授業とは違い、一コマ、一授業一授業の責任が重く感じる責任感を持って取り組もうと思います。

普段つたない広島弁をしっかりと学習していきたい。

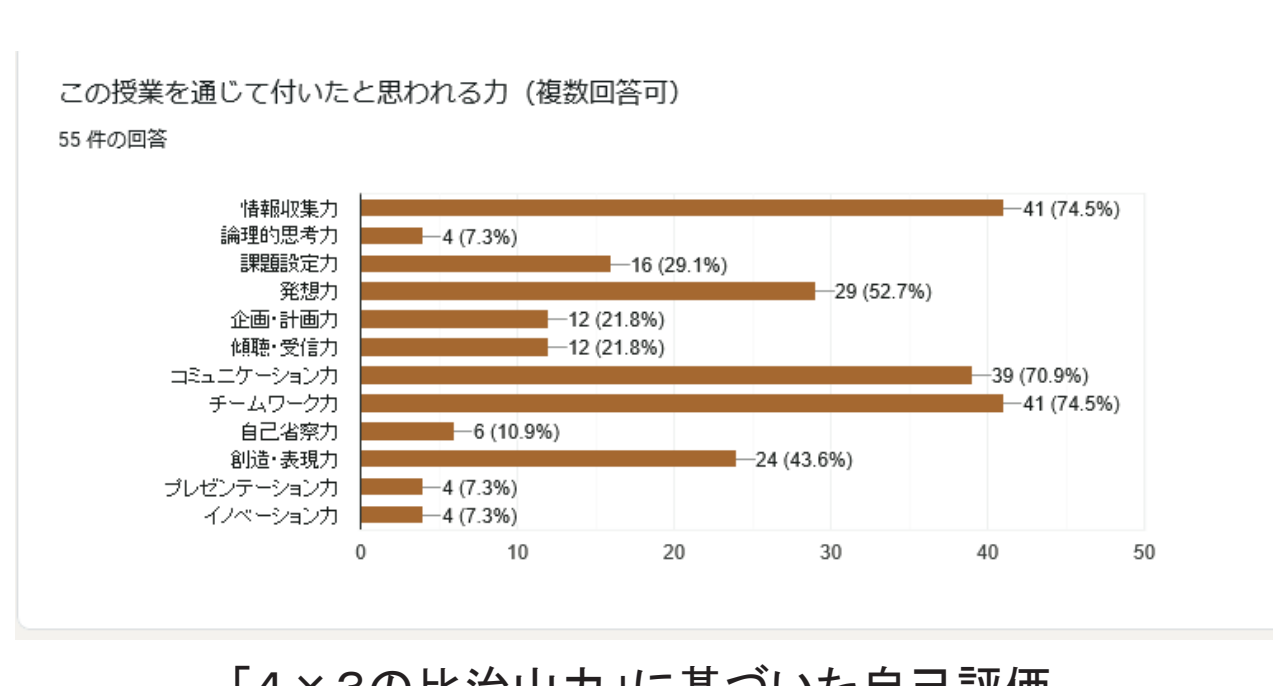
広島弁マスターする。そして介護を勉強する

チームメイトに迷惑をかけない

人と協力する。迷惑をかけない。

チームで頑張りたいです。

◆授業終了時に行ったアンケート(Google Formsを使用)



この授業を受講した理由を教えてください

46 件の回答

専門的な知識の習得のため

興味があったから

日本語表現研究の授業の目的で興味を持ったため

一人での履修(名前覚えていない)を受けるのは楽しかったから

国語コースですが、日文に関する授業を受けてみたかったから、授業内容が面白そうだったから

国語ですが、授業内容に興味があるから

IGLの学生さん知り合いがいて、以前からこのプロジェクトのことを聞いていて、参加したいと思っていたから

日本語教育を目標としているから

広島弁などの方言に興味があったから

反省点

53 件の回答

仕事を分けてやった時手際が速くなることもあった。最終的には強引に分けてもいい仕事まで分けて無理やり仕事を分けたような場面もあったのでもっと視野を広げたり注視したりしてやるべき仕事や分けるべき仕事の確認、順番づけをしたい。バイトとかでもやることなので社会の役に立つと思う

協力できたが、課題の配分が少し偏ってしまった。少人数にかなりの荷重があり、グループワークというには少し軽微な結果になった。結果的には無駄なく終わらせることができた。

もっとグループで積極的に動けばよかった。情報の共有をきちんとするべきだった

授業前半に出発できなかった

見づからない広島弁があったこと

もっといろんな(バリエーション)の広島弁を探せばよかったとおもった

今回の授業はグループ活動でしたが、あまりちゃんとしたアイデアを出すことが出来ず、大してグループに貢献出来ていなかったのではないかと感じました。

文系の学部学科⇒大学での学びと社会との結び付きをすぐに実感するのが難しい分野が多い
しかし授業運営の工夫次第では「自分は何を学び、何を身につけ、どのような力を持つのか」といった自身の強みを意識化させ、社会に接続させることも十分可能

